

平成 18 年 7 月 19 日

各 位

会 社 名 株式会社 住 友 倉 庫
代 表 者 名 社 長 安 部 正 一
(コード番号 9303 東証・大証第 1 部)
問 合 せ 先 執行役員事業推進部長 藤咲雄司
(TEL.06-6581-1104 事業推進部 広報 IR 課)

キヤノングループから物流センター業務受託のお知らせ

～大和ハウス工業(株)との業務提携本格展開へ～

当社はこのたび、千葉県浦安市において新たに建設される倉庫を賃借し、平成 19 年 5 月 1 日からキヤノンマーケティングジャパン(株)及びキヤノン(株)の物流センターを運営することとなりましたのでお知らせいたします。

本件は、当社中期経営計画に基づく重点戦略の一つである、物流センター業務強化の一環であり、また昨年 5 月に業務提携を行った大和ハウス工業(株)との本格展開第一号となるものです。

当社は、従前よりキヤノンマーケティングジャパン(株)から大阪物流センター業務を受託しており、その運営については高いご評価をいただいております。今般、同社の国内貨物の 6 割強を取扱っている東京物流センターを、2 か所から 1 か所に集約して運営の効率化を図るといご計画の意を受けて、当社も物流センターとしての適地を選定していたところ、大和ハウス工業(株)から本物件のご提案があり、規模、立地面で優れているとの評価を得て、本件の受託に至りました。

新物流センターは、大和ハウス工業(株)が所有する敷地に事業用定期借地権を設定し、日立キャピタル(株)が建物を建設、所有します。延床面積約 76,490 m² (約 23,140 坪) は当社最大規模の物流施設であり、千葉県における当社初の倉庫拠点となります。

新物流センターにおいては、キヤノンブランドの国内販売商品すべてを取扱い、主に関東甲信越地区への配送を行う予定です。当社は商品の保管管理、庫内作業、運送手配、流通加工、事務処理等、全面的に物流センター業務をお引き受けすることとなっております。

さらにキヤノン(株)の国内向け製品デポを新センター内に併設することとなっております、キヤノングループが目指す総合的な物流の最適化や CO₂ の削減といった環境問題への対応に、当社としても大きく貢献できるものと予想しております。

なお、当該新倉庫については、環境に配慮した建築物としての指標となる建築物総合環境性能評価システム (CASBEE) において、倉庫施設として日本初となる「A ランク」の認証取得が予定されております。

当社は、より一層お客様の視点に立った最適ソリューションを提供すべく、この 4 月

に営業組織を再編しており、本件も新設された「プロジェクト室」にて、より効率的な物流センターの運営を目指し鋭意検討を進めております。当社は、今後も豊富なノウハウを駆使して、お客様のサプライチェーン全体の最適化に資するよう努める所存です。

*建築物総合環境性能評価システム (CASBEE)

建物を環境性能で格付けする手法。環境に配慮した建築物の普及を目的に、国土交通省主導の下(財)建築環境・省エネルギー機構(I BEC)が開発し、認証している。「建築物内部の環境品質・性能」と「建築物による外部への環境負荷」の両側面から評価され、5段階の格付けが行われている。

施設の概要

1. 敷地所有者：大和ハウス工業(株)
2. 建物所有者：日立キャピタル(株)
3. 所在地：千葉県浦安市千鳥 11-5
〈交通アクセス〉：首都高速湾岸線「舞浜 IC」より約 2km
4. 敷地面積：約 38,460 m² (約 11,630 坪)
5. 構造：鉄骨造 5階建
6. 延床面積：約 76,490 m² (約 23,140 坪)
7. 仕様・設備：三面バース (トラックバース数 71 台分)
3t エレベータ 9 基、4.5t エレベータ 1 基、1.5t オムニリフタ 8 基
8. 着工：平成 18 年 3 月 15 日
9. 竣工：平成 19 年 4 月
10. 稼働：平成 19 年 5 月 1 日

完成予想図



以上